

(様式1)

令和5年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 23	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 混合堆肥複合肥料の様々な作物への適用試験	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 令和4年6月の肥料価格改定により、化学肥料の大幅な高騰が予測されており、農家経営の圧迫が懸念される。 国のみどり食料システム戦略では、化学肥料の30%低減を目指しているが、この一環として農家が安価で使用しやすい有機質資材として「混合堆肥複合肥料」が普及するよう、野菜以外の様々な作物（水稻、果樹、茶等）にも試験に取り組み、普及拡大する必要がある。	
解決希望年限	②2～3年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部、生産技術部、北相地区事務所
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 化学肥料を削減するための土壌管理技術の開発 (実施・実施中)			
対応の内容等 野菜作での混合堆肥複合肥料や指定混合肥料の施用試験は、土壌環境研究課で上記の試験研究課題の中で継続して実施します。 水稻は野菜作物研究課で、茶は北相地区事務所ですべて上記の試験研究課題の中で実施します。 果樹は、現場での使用状況や課題に関する情報収集を行った上で、有望な資材等を洗い出すとともに、試験実施に必要なほ場と材料を準備する必要がありますので、実施に向けて検討します。			
解決予定年限	①1年以内	②2～3年以内 (野菜・水稻)	③4～5年以内 (茶) ④5～10年以内
備考			